

令和4年度 第3回松山地域協議会会議録

日 時 令和5年1月6日(金) 午後1時30分～3時
場 所 松山農村環境改善センター

出席委員 9名

阿部 喜久子 富 樫 とも子 荘 司 東 一 齋 藤 薫
平 向 邦 夫 三 浦 由 美 榎 本 和 介 齋 藤 紀 代
須 田 良

欠席委員 5名

齋 藤 明 佐 藤 徳 康 小 林 正 利 清 野 淳
加 藤 恭 子

酒田市出席者

松山総合支所長	出 嶋 亨
松山総合支所長補佐	丸 藤 真 也
松山総合支所長補佐兼建設係長	堀 伸 一
松山総合支所管理防災主査兼管理防災係長	齋 藤 圭
松山総合支所地域振興主査兼地域振興係長	阿 彦 求
松山総合支所健康福祉係長	富 樫 明 子
松山総合支所産業係長	工 藤 慶

1 開 会

○開会の言葉 出嶋支所長

2 会長あいさつ

○平向会長からあいさつ

3 議事録署名人の指名

○会長が議事録署名人に、榎本和介委員を指名

4 議 事

(1) 地域協議会市長報告会の提言について

(平向会長)

2月17日に地域協議会市長報告会があるので、そこで提出する松山地域協議会としての市長への提言をまとめたい。提言をまとめるにあたり、事前に委員の皆さんから提言の案を提出していただいたが、提言というより要望事項が多かった。まずは、皆さんから意見をいただきたい。

(富樫とも子委員)

眺海の森の整備について提言したい。特にスキー場に食堂がないのが残念だ。よそから来た人や子どもたちが楽しめる場所にするためにも、食堂の再開を望みたい。

(齊藤薫委員)

昨年度に引き続きになるが、眺海の森の整備をお願いしたい。コロナで生活スタイルも変わり、この機会にキャンプ場や駐車場の整備を進めてもらいたい。特にさんさんが年間を通して空いていれば、眺海の森の賑わいも生まれると思う。

(三浦由美委員)

私も、眺海の森のさんさんの再開を望みたい。いい景色があって見に来る人がいるのに、食べる場所がないのが残念だ。また、松山の人口減少、特に若い人がいなくなっているのは、本当に不安なので、何とかしてほしい。

(榎本和介委員)

さんさんや天体観測館の施設修繕についてだが、市では壊れた部分だけ直すという対応をしてきたが、結局また壊れて今は施設が使えなくなっている。場当たりの対応で将来的なビジョンがないと思う。

そもそも市としては、松山地区についてどのように考えているのか見えてこない。酒田市が映画のロケ地になったが、市ではその宣伝をしていない。民俗芸能についても、市では現場のことを分かっているのか。提言を出しても生かされていない。松山地区についての具体的なビジョンを、市側から出してほしいと思う。

(阿部喜久子委員)

先日城址館でイベントがあり、多くの人に来て盛り上がった。さらに別のイベントへ誘導するような仕掛けがあれば、もっと賑わいが出ると思う。また、せっかく眺海の森が映画のロケ地になったのだから、もっとPRすれば見に来る人も増え、松山のPRにつながると思う。

庄内交通のバスが無くなってデマンドタクシーとなったが、その後利用状況はどうか。利用者の利便性を良くして、広報で宣伝していけば、利用者も増えるのではないか。

(阿彦主査)

デマンドタクシーの利用者は増えている。

(平向会長)

市のデマンドタクシーの担当者からきいたことがあるが、利用者の声を聴きながら改善していると言っていた。自分はデマンドタクシーを利用したことはないが、利用者の話を聞くと、結構便利なので不自由さは感じていない、と言っていた。

(齋藤紀代委員)

空き家の管理はどのように対応しているのか。自治会へ管理を要請しているのか。

(齋藤主査)

市から、コミ振を通して空き家の見守りをしてくれる自治会へ交付金を払っている。

(平向会長)

空き家の管理とは、どこまでの範囲を言うのか。確認して市へ連絡するだけなのか、修繕までするのか。

(阿彦主査)

自治会は、何かあったら市へ連絡するまでで、修繕は持ち主がすることになる。

(齋藤紀代委員)

草刈りなどは大変なので、空き家は市で管理できないか。

(出嶋支所長)

制度的なものはまちづくり推進課へ確認できるが、市が直接空き家を管理することはない。

(平向会長)

齋藤紀代委員は、地見興屋地区のことを言っていると思うが、あれは自治会が自主的に行っているもので、市から頼まれているものとは違う。ちなみに下新田地区では、空き家の持ち主の連絡先は把握しているので、何かあったら連絡して持ち主が対応している。

(須田良委員)

高齢者世帯が増えているが、車に乗れないと買い物や医者へ行くことができない。デマンドタクシーはあるが、制度を理解できていないと思う。乗合バスのようなものがあればいいと思う。

(出嶋支所長)

バスでは採算が合わないということで、代わりにデマンドタクシーが始まったという経緯がある。デマンドタクシーは時間やコースの制約はあるが、制約を外してしまうと、普通のタクシーと変わらなくなってしまう。

(齋藤主査)

デマンドタクシーは、4人以上乗る場合は2台に増やすなど、バスより小回りが利くという利点もある。

(平向会長)

デマンドタクシーの利用者は、便利だと言っている。

(阿部喜久子委員)

そういった利用者の「便利だよ」という声を、もっとPRすれば利用者が増えるのではないかな。

(須田良委員)

デマンドタクシーの制度を分らない人が多いと思う。

(平向会長)

高齢者の利用者にはアンケートも難しいと思うので、民生委員や自治会連合会の方でも何か協力して、声を吸い上げて発信していきたいと思う。

(阿部喜久子委員)

高齢者が多いので、老人クラブの組織を使うのもいいかと思う。

(平向会長)

資料に「近所の火災の情報が防災ラジオから聞こえなかった」とあるが、これは市全体の放送なので、近所の火災情報は出ない。

(出嶋支所長)

これまでは戸別受信機があったが、今は市全体の防災ラジオに代わっている。地域の情報は、屋外スピーカーのみで対応できるが、風の状況等により聞こえづらいこともあり、ご不便をおかけしている。防災ラジオは、あくまで市全体の災害の情報が流れることになっている。

(平向会長)

ちなみに、先日の火災の際、私の自宅では屋外スピーカーから声が聞こえた。

(榎本和介委員)

私の地区に屋外スピーカーはないので、聞こえなかった。煙が見えて分かった。私の自宅の防災ラジオは、試験放送しか聞こえない。

(平向会長)

ミサイル発射の際のJアラートは聞こえた。

(榎本和介委員)

先日の火災は朝で無風だったが、もしあれが夜間や風が強い日だったらもっと被害が出ていたと思う。そんな情報を地域の人へ教えない防災無線とは、必要なのか。

地域の大事な情報を伝えてほしいという要望を出しているのだから、応えていただきたい。「こういう制度なのでご理解ください」ではダメだと思う。身近で火事も起きているし、空き家もあって不安なので、地域情報を伝えるシステムをつくってほしい。

(平向会長)

これは大きな今後の課題だと思う。私が知っている藤島地区のある所では、各家を有線で繋いで地域情報を流すシステムがあった。

商工会の関係では、何か地域の課題は挙がっていないか。

(齊藤薫委員)

今のところ、商工会関係で大きな地域の課題は出ていない。

(榎本和介委員)

松山芸文協は、今年度は芸術祭を無事実施できた。今後も各コミ振などに声をかけて、松山地区全体の芸術祭への参加を呼び掛けていきたい。

(齊藤薫委員)

旧3町地域から銀行の支店の撤退が相次ぎ、現在はATMしかない状態だが、住民生活への影響は出ているか。不便になっていないか。

(平向会長)

昔は農協の職員が電話をすれば現金を持ってきてくれたこともあったが、今は確かに不便になっていると思う。支所ではどうか。

(出嶋支所長)

金融機関の動向については、行政は意見を言える立場にない。

(齊藤薫委員)

商工会からは、銀行へ要望書を出した。ただ、決定してから言っても遅い、ということだった。

(平向会長)

そろそろまとめに入りたい。私はこれまで4年に渡って地域協議会へ参加してきたが、その年、その年で地域課題があつて協議してきたと思う。今の課題は、松山のシンボルであるさんさんではないかと思う。さんさんは、費用対効果の関係で、そのまま営業するのは難しいし、施設や設備の老朽化の問題もあるが、施設を休館のままにしておくのはもったいない。

例えば、松山の産業まつりやくらふとフェアは賑わっているので、このような地域の自主的なイベントをもっと増やして、さんさん周辺も会場にして開催するのはどうか。このような提案なら、市の理解も得られやすく、改善につながるのではないか。

ただ、市へ「再開してほしい」と要望を出すだけでなく、住民側から自主的に動いて発信していくことも必要なのではないかと思う。

まずは、今回の市長への提言としてはさんさんを出してよいか。

(委員一同、了承)

私は、八幡、平田の地域協議会の議事録も見たが、いろいろ素晴らしい意見交換をしながらも、全体的に市への要望が多い気がした。自分たちの暮らしを良くする要望は当然あるだろうが、地

域協議会の提言としては、酒田市全体の中での松山地区の位置づけを発信していく必要があると思っている。

市では何か意見はあるか。

(出嶋支所長)

例えば「デマンドタクシーの利用者の声をもっとPRすれば利用が増えるのでは」とか「映画のロケ地をもっとPRしては」ということは、提言になっていると思う。

(榎本和介委員)

塔婆坂へ五月雨塚という松尾芭蕉の石碑がある。現在倒れているが、直していただきたい。松山には、このような素晴らしい物がたくさんあるが知られていない。もっとPRしてほしい。

(平向会長)

観光の分野かと思うが、松山の観光協会はどうなった。

(出嶋支所長)

平成25年度に観光協会は解散し、松山地域観光物産事業実行委員会となった。事務局は松山総合支所である。

(榎本和介委員)

松山の宝推進協議会という組織もあるので、地域の宝を宣伝していただきたい。

(富樫とも子委員)

總光寺のSNSに、我が家の田んぼの彼岸花の写真が投稿されていて、評判がいいらしい。若い人にPRするためにも、もっとSNSを活用した情報発信をしてほしい。テレビで移住者の生活を紹介する番組があるが、ぜひ松山地区にも若い人が移住してきて、その番組で全国放送されるのを見てみたい。

(平向会長)

今の時代は情報発信は大事だと思う。各コミ振もさまざま事業を頑張っているが、もっと発信していくことは必要だと思う。

(荘司東一委員)

先日の山形新聞に、總光寺のきのこ杉と彼岸花の写真が載っていた。SNSもいいが、高齢者には写真もいいかと思う。また、總光寺の「瑠璃の水」が、県の名水100選に選ばれたので、注目が集まるかと思う。

(平向会長)

市の広報へ投稿する形でもいいかと思う。

(出嶋支所長)

松山の宝推進協議会のフェイスブックがあるので、何かあれば紹介することはできる。内郷地

区の地域おこし協力隊も、インスタグラムで松山地域を紹介している。

(平向会長)

そろそろまとめるが、他に意見はないようなので、今回の市長への提言としてはさんさんの件でよろしいか。

(委員一同、了承)

では、さんさんを出すことにして、詳細は私と事務局へ一任していただきたい。来月、市長報告会へ行って提言してくる。前に市長と懇談する機会があったが、地域協議会のあり方について相談をした。市議会の議長、副議長、常任委員長とも会う機会があり、地域協議会のあり方の相談をした。

また来年、地域や団体から推薦された委員で地域協議会を開催することになるかと思うが、よろしく願いたい。本日は、これで終了する。